

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 62-131328

(43)Date of publication of application : 13.06.1987

(51)Int.Cl. G06F 3/12
G06F 15/62
G06K 15/00
// B41J 5/48

(21)Application number : 60-272919

(71)Applicant : CANON INC

(22)Date of filing : 04.12.1985

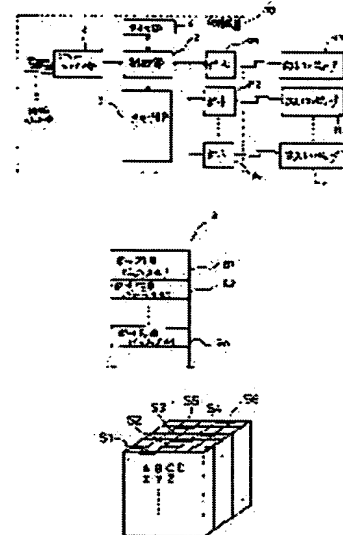
(72)Inventor : KISHIMOTO SHINYA

(54) IMAGE PROCESSING SYSTEM

(57)Abstract:

PURPOSE: To easily perform the classification work of an outputted image in a system which inputs plural data and outputs images from plural data output devices by attaching the print function of identification information.

CONSTITUTION: Each of host computers H1, H2,...Hn outputs a data to a print device 10 regardless of output timings of other host computers respectively. A control part 2 selects one of buffer memories B1WBn, and sends the data of one block stored at the buffer to a print engine part 4, and prints the data of one block continuously. And at an area different from the area where the data of one block is printed (for example, a printable area judging from the data output device), the information (black mark in figure) to identify each of the data output equipments is printed.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's

decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

⑫ 公開特許公報(A)

昭62-131328

⑬ Int.Cl.⁴ 識別記号 庁内整理番号 ⑭ 公開 昭和62年(1987)6月13日
G 06 F 3/12 7208-5B
15/62 6615-5B
G 06 K 15/00 7208-5B
// B 41 J 5/48 7810-2C 審査請求 未請求 発明の数 1 (全4頁)

⑮ 発明の名称 画像処理システム

⑯ 特 願 昭60-272919

⑰ 出 願 昭60(1985)12月4日

⑱ 発 明 者 岸 本 晋 弥 東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤノン株式会社内
⑲ 出 願 人 キヤノン株式会社 東京都大田区下丸子3丁目30番2号
⑳ 代 理 人 弁理士 川久保 新一

明 細 書

1. 発明の名称

画像処理システム

2. 特許請求の範囲

(1) 複数のデータ出力機器から、複数のデータを入力して画像出力する画像処理システムにおいて、

互いに異なるデータ出力機器からのデータを、所定ブロック毎に画像出力させる画像制御手段と；

前記所定ブロックのデータを出力した領域と異なる領域に、前記各データ出力機器を識別する情報を入力する識別情報出力手段と；

を有することを特徴とする画像処理システム。

(2) 特許請求の範囲第1項において、

前記データ出力機器を識別する情報を出力する

領域は、印字束の表面であることを特徴とする画像処理システム。

(3) 特許請求の範囲第1項において、

前記所定ブロックのデータの出力が終了したことを、対応する前記データ出力機器に知らせる出力終了情報通知手段を有することを特徴とする画像処理システム。

(4) 特許請求の範囲第1項において、

前記データ出力機器は、ホストコンピュータ、パーソナルコンピュータまたはワードプロセッサであることを特徴とする画像処理システム。

3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明は、複数のデータ出力機器から、複数のデータを入力し、所定ブロック毎に、異なるデータ出力機器からのデータを画像出力する画像処理システムに関する。

〔従来の技術〕

従来は、パーソナルコンピュータ1台にプリン

タを1台、ワードプロセッサ1台にプリンタを1台、または、ホストコンピュータ1台についてプリンタを1台を接続していた。ところで、そのホストコンピュータ等のデータ出力機器1台についての出力データ量が、上記プリンタの処理速度に比べてそれほど多くない場合には、一台のプリンタを複数のデータ出力機器が共有する要求が出てきている。プリンタのコストが高くなればなるほど、上記要求が高くなっていく。このようにして、一台のプリンタを複数のデータ出力機器が共有した場合には、そのプリンタからの印字出力は、多種多様に混在し、その印字後の仕分け作業が煩雑であるという問題がある。

〔発明の目的〕

本発明は、上記従来の問題点に着目してなされたもので、複数のデータ出力機器から、複数のデータを入力し画像出力する画像処理システムにおいて、出力された画像の仕分け作業を容易にすることができる画像処理システムを提供することを目的とするものである。

るが、本発明はこれに限定されるものではなく、所定量の画像情報を示すものである。

第2図は、メモリ部3を示す図である。

メモリ部3には、ポートP1用バッファメモリB1、ポートP2用バッファメモリB2、……、ポートPn用バッファメモリBnが設定されている。なお、ポートP1用バッファメモリB1は、ホストコンピュータH1からのデータを記憶する領域であり、ポートP2用バッファメモリB2は、ホストコンピュータH2からのデータを記憶する領域であり、以下同様である。

次に、上記実施例の動作について説明する。

まず、ホストコンピュータH1、H2、……、Hnは、それぞれ互いに他のホストコンピュータの出力タイミングと無関係に、印刷装置10に向けてデータを出力する。たとえば、ホストコンピュータH1からのデータは、RS-232C等のインタフェースを用いた回線を介して、ホストコンピュータH1に対応するポートP1に送られる。そのポートP1は、溜込み等の手段によ

〔発明の実施例〕

第1図は、本発明の一実施例を示す画像処理システムのブロック図であり、複数のデータ出力機器から同時に複数のデータを入力し、印字出力できる機能を有するものである。

データ出力機器としてのホストコンピュータH1、H2、……、Hnのそれぞれが、ポートP1、P2、……、Pnに接続されている。これらのポートP1～Pnは、印刷装置10に設けられている。また、印刷装置10は、制御部2と、メモリ部3と、プリントエンジン部4と、排紙スタッカー部5と、タイマ部6とを有する。

制御部2は、互いに異なるデータ出力機器からのデータを、1ブロック毎に印字出力させる印字制御機能と、上記1ブロックのデータを印字した領域と異なる領域に、上記各データ出力機器を識別する情報を印字する識別情報印字機能とを有するものである。タイマ6は、時計としての機能を有するものである。尚、ここで1ブロックとは例えばA4版1頁分の画像情報に相当するものであ

て、データを受取ったことを、制御部2に知らせる。このときに、制御部2は、その判込みがどのポートからきたかを認知するとともに、そのデータをメモリ部3におけるポートP1用バッファメモリB1に記憶させる。

ホストコンピュータH2～Hnからの各データも、上記と同様に、対応するポートに記憶される。また、バッファメモリB1～Bnの大きさは固定であってもよいし、ダイナミックにアロケーションしてもよい。

また、メモリ部3における空きがなくなった場合には、印刷装置10がビジーであることを各ホストコンピュータH1～Hnに知らせるプロトコルを有するものであってもよい。

そして、制御部2は、バッファメモリB1～Bnのいずれか1つを選択し、そこに記憶されているデータを1ブロック分、プリントエンジン部4へ送り、その1ブロック分のデータを連続して印字が開始される。印字された用紙は、排紙スタッカー部5へ順次排紙される。この場合、バッファ

メモリ B 1 ~ B n のうち、いずれを選択するかは、優先度を付けてもよく、ファースト・イン、ファースト・アウト法を採用してもよい。

ホストコンピュータは、ジョブの区切り毎に、または特別な区切り毎に、終了を意味する特別な制御コードを出力する。このときは、データの転送が終了したことだけを意味し、印字が終了したことは意味しない。プリントデータの中に、終了を意味する制御コードを、制御装置 2 が発見したときに、それに対応するポートを介して対応するホストコンピュータに湖込みをかける。

そして、一旦選択されたバッファメモリは、その入力データが終了するまでの 1 ブロック分のデータを連続して、プリントエンジン部 4 へ送出する。

その 1 ブロック分のデータの転送が終了した場合には、ある特別な終了コードが発生し、この終了コードを制御部 2 が判別する。上記終了コードは、ホストコンピュータ H 1 ~ H n が送出するようにしてもよく、または、ポート P 1 ~ P n に所

定時間データ入力があった場合に、タイムアウトと判定し、これによって、制御部 2 が終了コードが発生するようにしてもよい。

上記印字の場合、上記 1 ブロックのデータを印字した領域（たとえば、データ出力機器から見て印字可能な領域）と異なる領域（たとえば、データ出力機器から見て印字不可能領域）に、各データ出力機器を識別する情報を印字する。つまり、たとえば、第 4 図に示す領域 A 1 に、1 ブロック分のデータを印字し、同図に示す領域 A 2 にデータ出力機器の識別する情報を印字する。この識別情報の一例としては、第 3 図に示すように、印字束 S 1、S 2、S 3、S 4、S 5、S 6 の表面に印字した黒のマークである。

また、第 3 図においては、印字束 S 1 と S 5 とが同じ位置に黒のマークが印字されているので、同じデータ出力機器（ホストコンピュータ H 1）からのデータであることを示し、印字束 S 2 と S 3、印字束 S 4 と S 6 とが同じデータ出力機器（それぞれ、ホストコンピュータ H 2、H 3）か

らのデータを印字したものであることを示している。

上記黒のマークの代りに、データ出力機器 # およびその通し番号、または、ポート # およびその通し番号を印字してもよい。

そして、ホストコンピュータの代りに、パーソナルコンピュータまたはワードプロセッサ等の他のデータ出力機器を使用してもよい。

〔発明の効果〕

本発明は、複数のデータ出力機器から、複数のデータを入力し画像出力する画像処理システムにおいて、出力された画像の仕分け作業を容易にすることができるという効果を有する。

4. 図面の簡単な説明

第 1 図は、本発明の一実施例を示すブロック図である。

第 2 図は、上記実施例におけるメモリ部の一例を示す図である。

第 3 図は、排紙スタッカー部に排紙された印字

束の一例を示す斜視図である。

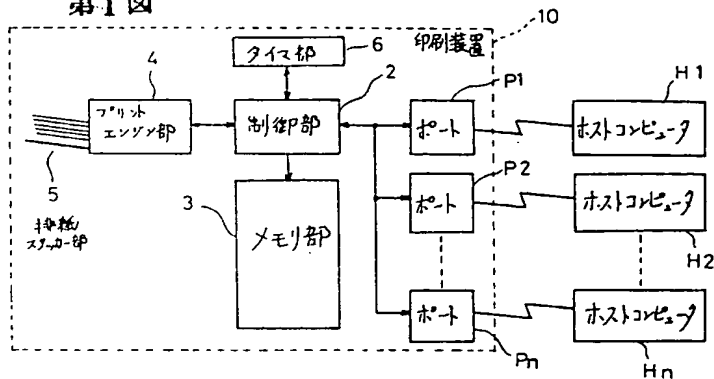
- H 1 ~ H n … ホストコンピュータ、
- P 1 ~ P n … ポート、
- B 1 ~ B n … バッファメモリ、
- 2 … 制御部、
- 3 … メモリ部、
- 4 … プリントエンジン部、
- 5 … 排紙スタッカー部、
- 10 … 印刷装置。

特許出願人 キヤノン株式会社

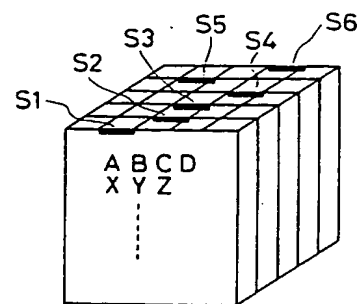
代理人 川久保 新



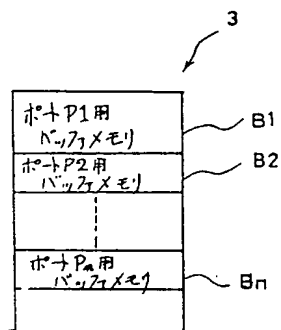
第1図



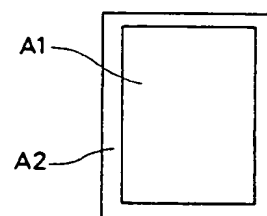
第3図



第2図



第4図



特許庁長官 賀 道 郎 殿

昭和 6 1 年 3 月 2 5 日

特許庁長官 賀 道 郎 殿

1. 事件の表示

昭和 6 0 年特許願第 2 7 2 , 9 1 9 号

2. 発明の名称

画像処理システム

3. 補正をする者

事件との関係 特許出願人
住 所 東京都大田区下丸子 3 丁目 3 0 番 2 号
名 称 (1 0 0) キヤノン株式会社
代表者 賀米 龍三郎

4. 代理人

住 所 〒162 東京都新宿区富久町 1 6 - 1 0
ニューライフ新宿茶番館 2 0 2 号
電話 03(358)8663
氏 名 (8744) 弁理士 川久保 新

5. 補正命令の日付

昭和 6 1 年 2 月 2 5 日 (発送日)

6. 補正の対象

明細書の図面の簡単な説明の欄

7. 補正の内容

明細書第 1 0 頁第 2 行に「第 4 図は、上記実施例において使用する
用紙の印字領域を示す図である。」を加入します。